

これまでに脳梗塞急性期の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

鳥取大学医学部附属病院脳神経内科では「脳梗塞症患者を対象とした日常生活動作の低下関連因子についての検討」という調査研究を行っています。この研究は、脳梗塞患者の予後（再発、死亡、ADL低下に影響を与える因子）を調べることを主な目的としています。そのため、過去に脳梗塞急性期の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、平成26年1月1日から令和11年1月31日までに脳梗塞急性期の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真が対象です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びにリスクはありません。また、患者さんへの直接的な利益ありませんが、研究の成果は、将来の脳梗塞急性期の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究で利用したデータは、当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日まで保管します。保管期間終了後は、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、患者さんには帰属しません。
- この調査研究は、鳥取大学医学部附属病院脳神経内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。
- この調査研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会で審査され、医学部長の承認を受けて行われます。研究期間：平成29年2月～令和13年3月まで

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、令和13年1月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

鳥取大学 医学部附属病院 脳神経内科
研究責任者 花島 律子 TEL：0859-38-6852

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。